KODAK Color Control Patches © The Tiffen Company, 2000
Kodak LICENSED PRODUCT
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

国華無垂 巻三

JL 2
2985
6

島田藏書

ル2 2963 5

門ル2 2985 6

西洋事情二編卷之三

福澤諭吉 纂輯

佛蘭西

史記

佛蘭西ノ國名ハ羅甸語ノ「フランシ」ヨリ轉シタルモノニテ「フランシ」トハ羈絆ヲ脫スル人ト云フ義ナリ往古羅馬ノ世ニハ此地方ヲ「ゴール」ト唱ヘシカ羅馬ノ衰ルニ及テ日耳曼ノ諸方ニ在リシ蠻野ノ種族羅馬ニ叛テ「ゴール」ノ地ヲ侵略シ自カラ「フランク」ノ族ト名ケリコレヲ佛蘭西國名ノ始トス

紀元四百八十六年「フランク」ノ酋長ニ「コロウヒス」ナル者アリ年甫テ十九羅馬ノ鎮臺「シアグリス」ヲ擊テ大ニ之ニ克チ羅馬ノ羈絆ヲ脫却シテ獨立ノ躰裁ヲ成セリ此人ヲ佛蘭西ノ始祖トシ此血統ヲ「メロウヒンジヤ」ノ世ト稱ス「コロウヒス」死スルニ及テ其四子國ヲ四分シ各其一ヲ領シテヨリ忽チ内亂ノ端ヲ生シ爾後數十年ノ間兄弟相攻メ骨肉相食ハノ亂ニ陷リ王室ノ權威次第ニ衰微セリ昔者日耳曼ニ於テ有功ノ士將ヘハ斧鉞又ハ軍馬ヲ賜リテ其功ヲ賞スルノ風習ナリシガ「フランク」ノ「ゴール」ニ移リシヨリ此例ヲ廢シ軍功ヲ賞スルニハ斧鉞軍馬ノ代ニ采地ヲ以テセリ固ヨリ此采地ノ賜モ唯本人生涯ノ間ノミテ死後ハ復タ政府ニ返ル法ナリシカ氏年代ノ沿革ニ從ヒコレヲ子孫ニ傳フルヲ許シテヨリ遂ニ封建世祿ノ勢ヲ成シ世祿ノ貴族愈盛ナルニ從ヒ王室ノ威權次第ニ衰ヘ紀元六百年代ニ至テハ國王ハ唯其名位ノミヲ存シテ實ノ威力ナク朝廷ノ政權盡ク大臣ノ手ニ在リ此時ニ當テ大臣ペピンデリスタル者アリ「アウスタラシヤノ地ヲ領スル」二十七年威權最

モ強盛内外ノ事皆其裁斷ヲ仰ガサルモノナシ國王ハ宮中ノ囚俘ニ異ナラス「ペピン」死シテ其子「チャーレスマルテル」父ノ位ヲ襲キ屢軍功アリ紀元七百四十一年「マルテル」死シテ其子「ペピン」祖父ト同名立ツ此時ニ當テ羅馬ノ法皇希臘(ギリキ)及ヒ「ロンバルド」ニ窘メラレテ皇威日ニ衰ルノ勢アリ「ペピン」此機ニ投シ竊ニ法皇ヲ助ケンコヲ約シ法皇ノ勅許ヲ得テ佛蘭西王「チルデリク」ヲ廢シ自カラ國位ニ昇レリ此血統ヲ「カラウヒンジヤ」ノ世ト稱ス「メロウヒンジヤ」ノ家是ニ於テ亡ヒタリ「ペピン」即位ノ後兵ヲ出シテ羅馬ヲ援ケ「ロンバルド」及ヒ希臘ト戰テ頻リニ克チ其地ヲ取テ法皇ニ與ヘリ紀元七百六十三年「ペピン」死シテ長子「チャーレス」位ニ即ク後コレヲ「チャーレマン」ト稱ス蓋シ「チャーレス」大君ノ義ナリ其天稟文武ヲ兼備シ兵ニ將タレハヨク敵ニ勝チ政ヲ施セハ國ヨク治マル在位ノ間羅馬法皇ト好ヲ厚クシ四鄰ノ國ヲ攻テ勝タザルコナシ佛蘭西日耳曼ノ兩國ヲ一統シ伊太里ノ南方モ太半其版圖ニ歸シタリ紀元七百九十九年法皇第三世「レヲ」亂賊ノ爲メニ羅馬ヨリ逐ハレテ佛蘭西ニ出奔セリ佛

王コレヲ遇スルヿ甚タ厚ク護送シテ本國ニ返シ翌年親カラ兵ヲ率ヒテ羅馬ニ入リ國亂忽チ平定セリ法皇コレヲ悅ヒ「チャーレマン」ニ帝位ノ冠ヲ着ケ羅馬帝ノ稱号ヲ附與セリ爾後「コンスタンチノポル」ノ君ヲ羅馬東帝ト稱シ「チャーレマン」ヲ羅馬西帝ト稱セリ紀元八百十四年帝崩ス年七十二歲ナリ「チャーレマン」在世ノ時ニ國ヲ三分シテ其三子ニ與ヘタレヒ長子二人ハ帝ニ先ツテ死タルヲ以テ少子「ロイス」帝位ニ昇レリ蓋シ國ヲ割テ兄弟ニ分與スルハ古來佛蘭西ノ流弊ニテ每ニ爭亂ノ端ヲ

開キシヿナレヒ「チャーレマン」ノ英明ナルモ尚コレヲ改ルヲ知ラス幸ニシテ二子ノ早死ニ由リ内亂ヲ見サリシガ「ロイス」帝ノ世ニ至リ又其轍轍ヲ踏ミ果シテ一國ノ爭亂ヲ釀セリ帝ニ三子アリ長子「ロゼイル」ト云フ伊太里王ニ封ス次子ヲ「ロイス」父ト同名ト云フ日耳曼王ニ封ス弟三子ハ則チ父ニ繼テ佛蘭西王ノ位ニ即ク名ヲ「チャーレス・ゼ・バルト」ト云フ爾後兄弟互ニ兵ヲ構シテ爭亂止ム時ナシ君上ノ權威日ニ衰ヘ封建ノ貴族次第ニ跋扈シ天下ノ人更ニ王室アルヲ知ラスコレヨリ先キ北方ノ

弟狄ニ「ノルマン」ト稱スル種族アリ其本國ハ今ノ嗹國(ノルウエー)及ヒ瑞典(スエーデン)等ニ當レリ此夷民舟ニ乘シテ屢〻佛蘭西ノ沿海ヲ掠亂シ佛人ノ窘メラルヽ年既ニ久シ紀元九百年代ノ初ニ至リ佛蘭西王「チャーレス・ゼ・シンプル」西北ノ地ヲ割テ「ノルマン」ニ與ヘ其女ヲ「ルロ」ニ嫁シテ和ヲ求メタリ「ルマン」ノ酋長「ルロ」ハ「ルマン」ノ人ハ此土地ヲ得テ益〻强大ノ勢ヲ成シ所領ノ地ヲ「ノルマンディ」ト唱ヘ名ハ佛蘭西ノ管轄内ニアレ𪜈其實ハ獨立ノ一强國ニシテ國内衆貴族ノ上ニ位シ嘗テ王命ニ從フ「ナシ」爾後「ノルマン」ノ國カ漸ク盛大ヲ極メ紀元一千六十六年其君「ギルレハ」英國ヲ征シテコレヲ服從セシメタリ即チ今ノ英王ハ「ノルマン」ノ後裔ナリ」右ノ如ク王室ノ威權日ニ衰ルヲ以テ日耳曼ノ人モ佛蘭西ニ叛キ「サクソニー」ノ君ヲ奉シテ帝位ニ即カシメリコレヨリ羅馬西帝ノ稱号ハ日耳曼ニ歸シ「チャーレマン」ノ餘業ヲ繼テ日耳曼帝ノ名始テ起レリ○「チャーレス・ゼ・シンプル」位ヲ廢セラレ「ルゴンヂー」ノ君「ロドルフ」位ニ昇リタレ𪜈王威嘗テ行ハレス慢ニ王土ヲ割テ貴族ニ與ヘ一時其臣服ヲ買フノミ此時ニ當テ「パリス」ノ君「ヒューゴ」ナル者アリ其叔父「エウドス」嘗テ佛蘭西ノ半

國ヲ領シテ王ト稱シ爾後其名稱ハ廢シタレ氏其實ヲ失ハス[チャールス・ゼ・シンプル]ノ位ヲ廢セラレシ片モ[ヒューゴ]之ニ代ル可キノ威名アレ氏故サラニ王位ヲ辭シテ[ロドルフ]ヲ立テ[ロドルフ]死スルニ及テ又他ノ君ヲ撰テ位ニ即カシメ已レ自カラ國權ヲ執レリ斯ノ如クスルヿ三世ニシテ紀元九百八十七年第五[ロイス]王ノ死ニ至リ[ヒューゴ]ノ子[ヒューゴカペト]始テ佛蘭西王ノ位ニ昇レリ此血統ヲ[カペチヤン]ノ世ト稱ス蓋シ其名ヲ始祖[カペト]ニ取リシモノナリ○[カペチヤン]ノ始祖ヨリ今帝

ニ至ルマテ歷代ノ順序ト即位ノ年ヲ示スヿ左ノ如シ

紀元九百八十七年[ヒューゴ・カペト]ロベルト十六年

第九世ロイス　千二百二十六年

千九百九十年

第一世ヘヌリ　千二百十五年

第三世ヒリップ　千二百七十年

千三十一年

第一世ヒリップ　千二百十四年

第四世ヒリップ　千二百十八年

千三十六年

第六世ロイス　千三百十六年

第十世ロノス　千三百十八年

千三十七年

第七世ロイス　千三百十六年

第一世ジョン　千三百十八年

千百八十年

ヒリップ・オーグスチュス　千二百二十三年

第五世ヒリップ　千三百二十六年

千百三十七年

第八世ロイス　千二百二十三年

第四世チャールス　千三百二十八年

第六世ヒリップ　千三百二十八年

千三百五十年　第二世ジョン
千三百六十四年　第五世チャーレス
千三百八十年　第六世チャーレス
千四百二十年　第七世チャーレス
千四百六十一年　第十一世ロイス
千四百八十三年　第八世チャーレス
千四百九十八年　第十二世ロイス
千五百年　第一世フランシス
千五百四十七年　第二世ヘヌリ
千五百五十九年　第二世フランシス

十五百六十年　第九世チャーレス
十五百七十四年　第三世ヘヌリ
十五百八十九年　第四世ヘヌリ
十六百年　第十三世ロイス
十六百四十三年　第十四世ロイス
十七百五十五年　第十五世ロイス
十七百七十四年　第十六世ロイス
十七百九十三年　合衆政治
十七百九十七年　議員執權
十八百年　第一世ナポレオン

千八百十四年　第十八世ロイス
千八百十四年　第十世チャーレス
千八百三十年　ロイス・ヒリップ

十八百十八年　合衆政治
十八百十二年　第三世ナポレオン

ヒューゴ・カペト國位ニ即キ「カペナヤン」ノ世系コヽニ始ルト雖モ封建ノ貴族諸方ニ割據シテ王命ニ從フ者ナシ加之「カペト」ノ天稟中人以上ノ人物ニ非ラス唯ヨク世事ニ通シ退テ守ルノ策ヲ為スノミ紀元九百九十六年「カペト」死シテ太子「ロベルト」立ツ其為人父ニ異ナラス爾後二世ノ間ニモ記スヘキ事件ナシ是時ニ當テ「ルマン」ノ勢益盛大ヲ

致シ南ハ伊太里ヲ攻テ之ニ克ヲ北ハ英吉利ヲ伐
テ其國ヲ一統シ又歐羅巴諸國ニテ耶蘇宗ヲ奉ス
ルノ君ハ神征ノ師トテ大軍ヲ出シテ[パレスタイ]
シノ地ヲ攻メ財ヲ費シ人ヲ殺シ國力疲弊セザル
モノナカリシガ獨リ佛蘭西ノ君ノミ靜ニ國ヲ守
リ嘗テ世間ノ治亂ニ關係セス無為ヲ以テ却テ自
國ノ王位ヲ固クスルヲ得タリ一千百八年第六世
[ロイス]位ニ即キ祖先以來未曾有ノ智勇ヲ抱キ大
ニ貴族ノ權ヲ制シメタリ益シ此時ニ至テハ民庶ノ
衣食漸ク足リテ禮讓次第ニ興リ又舊時ノ奴隷タ

ルヲ甘ンセス不羈自由ノ趣意ヲ達センガ為國王
ヲ助テ貴族ヲ滅シメタルナリ一千百八十年[ヒリップ]
[オーグスチュス]位ニ即キ又封建ノ貴族ヲ滅シ其他
佛蘭西ニアル英領ノ地[ノルマンヂ等ハ英ノ本領ナリ]ヲ沒入シ
テ大ニ王土ヲ開キ其境界前代ニ比スレハ殆ト一
陪セリ千二百十四年國内ノ一貴族[フランドルス]
ノ君兵ヲ舉テ英國王[ジョン]及ヒ日耳曼帝[オトー]ト
連合シテ佛蘭西ヲ攻メ之ニ克タス佛王ハ僅カニ
小兵ヲ以テ敵ヲ破リ日耳曼帝ヲ逐ヒ[フランドル]
[スノ君ヲ捕ヘボウヒン]スノ一戰ヲハイテ事ヲ決シタ

リコレヨリ佛蘭西ノ威名歐羅巴全州ニ轟キコレヲ恐レザルモノナシ爾後コノ餘業ヲ繼キシモノハ第九世ロイス[ロイス]ナリ此君ノ在位ハ千二百二十六年ヨリ始リ千二百七十年ニ終レリ[ロイス]即位ノ後ハ祖宗ヨリ遺傳ノ法ニ從テ專ラ王威興張ノ策ニ眼ヲ着セリ從来佛蘭西ニテハ無位ノ平民ヲバ第三等ノ民種トシテ輕蔑スルノ風習ナリシカドモ漸ク之ヲ揚ケテ直ニ王室ノ制御ニ服セシメ羅馬ノ舊法ヲ採用シ議事院ノ制度ヲ正タシ裁判刑法ノ大局ヲ立テ、次弟ニ貴族ノ權柄ヲ奪ヒ王威ノ

行ハルヽヿ昔時ニ百陪セリ下民ニ不平ヲ訴ル者アレハ速ニ處置シテ其弊害ヲ除キ貴族ニ暴威ヲ逞フスル者アレハ嚴ニ之ヲ罰シテ後患ヲ防キ天下一夫モ其處ヲ得ザルモノナクシテ盡ク皆王ノ仁德ヲ仰キ其智勇ヲ感シテ之ヲ貴ハサル者ナシ之ヲ慕ハザル者ナシ後世ノ諸王事ヲ爲ス可キオ德ニ乏シト雖ドモヨク王室ノ全權ヲ固守シテ之ヲ失ハザリシハ他ナシ皆先王ノ餘慶ナリ後世王室ニテ貴族等ノ跋扈ヲ制セントスルトキハ常ニ平民ノ力ニ依頼セザルヿナシ古来佛蘭西ノ國議ニ關

係スル者ハ唯貴族僧徒ノミナリシガ第四世ヒリップノ時ニ至テ議事院ニ平民ノ出席ヲ許シ王室ヲ仰ク者益〻多ク重大ノ事件ニ遇フ毎ニ王威ノ行ハレサルコトナシ千三百二年羅馬法王第八世ボニフェース佛蘭西王ヲ凌辱シラ之ヲ臣服セシメントシタレモ佛王敢テ屈セスヨク其國威ヲ持張セシノミナラス却テ法王ヲ窘メタルモ皆平民會議ノ力ナリ○千三百二十八年第四世チャーレス死シテ子ナシワロイス侯ノ子ヲ迎立ツ之ヲ第六世ヒリップトス蓋シ王室ノ遠孫ナリ初メチャーレスノ妹イサベラ英國王第二世エドワルトニ嫁シテ男子第三世エドワルトヲ生メリチャーレスノ死ニ及ヒ英國王外甥ノ縁ヲ以テ佛王ノ位ヲ繼キ全國ヲ英ニ并セントノ説ヲ發シテ遂ニ兵端ヲ開キ干戈久シクシテ止マズ之ヲ百年ノ師ト名ツク千三百四十年英ノ軍艦スロイスニ於テ佛船ヲ殄シ千三百四十六年ニハ英國王エドワルト二萬四千ノ兵ヲ率テ侵入シ佛蘭西王ヒリップ精兵十萬ヲ以テ之ヲクレシノ原ニ迎ヘ佛軍利アラズ英ノ強弩ニ窘メラレ死傷甚タ多シ一日ノ戰爭ニ佛ノ歩兵三萬人武士

一萬二千人ヲ失ヒシト云フコレヨリ佛蘭西ノ勢復タ振ハス後十年ヲ經テ千三百五十六年英ノ太子[ブラッキ・プリンス]僅ニ八千ノ兵士ヲ以テ佛蘭西ニ入リ佛王[ジョン]ト[ポイチールス]ニ戰テ復タ之ヲ破リ王ヲ禽ニシテ英ニ歸レリ是ニ於テカ佛蘭西ノ形勢四分五裂外國ヨリ雇ヒシ兵士ハ國内ヲ奪掠シテ憚ル所ナク農商ハ貴族ノ苛政ニ苦テ諸方ニ蜂起シ政府ノ危急旦夕ニ迫レリ千三百六十四年第二世[ジョン]英國ニ死シ太子位ニ即ク之ヲ第五世[チャーレス]トス[チャーレス]在位ノ間ニ英國王第三

世[エドワルト]死シテ國内治ラス[チャーレス]此機ニ乘シ大臣[ヂュゲスクリン]ト共ニ謀テ英人ヲ逐ヒ舊地ノ大半ヲ恢復シタレヒ千三百八十年[チャーレス]世ヲ辭シ[ゲスクリン]モ亦死シテ國亂復タ生ス太子第六世[チャーレス]位ニ即キタレヒ精神錯亂シテ國事ヲ裁スルヿ能ハズ王族ノ大諸侯[オルリーン]ス]ノ君ト[ブルゴンヂー]ノ君ト權ヲ爭ヒ黨類相分レ或ハ戰爭シ或ハ暗殺シ事物ノ混亂前日ニ一倍シテ國力大ニ衰ヘ遂ニ復タ英人ノ入寇ヲ招キ千四百十五年英佛ノ大兵[アジンコールト]ニ戰テ佛

軍敗走千四百十九年[ブルゴンヂーノ君ジョン・ゼ・ヒ]
ールレスナル者[オルリーンスノ君ニ欺カレテ殺
害ニ遇ヒシニ由リ其子ヒリップ[ブルゴンヂーノ地
ヲ以テ英國ニ降レリコレヨリ先キ王妃[イサベラ
頗ル姦才ヲ抱キ既ニ君夫ノ權ヲ奪ヒ又其所生ノ
太子ヲ廢セントシ是ニ於テ[ブルゴンヂーニ與シ
テ英佛ノ和約ヲ結ヒ公主[カタリナ]ヲ英國王第五
世[ヘヌリ]ニ嫁シテ[ヘヌリ]ヲ佛蘭西王ノ嗣子ト定
メ且佛王在世ノ間ハ暫ク[ヘヌリ]ニ執權ノ職ヲ任
セリ其實ハ全國ヲ擧テ敵ニ與ヘタルヿナレヒ王

ノ癲狂嘗テ其事情ヲ知ラス仮令ヒコレヲ知ルモ
コレヲ拒ム可キ權ナシ數月ニシテ王ハ病ヲ以テ
死セリ此一擧ニ由テ佛蘭西ノ國ハ全ク滅亡ニ屬
シ王室寺院貴族民族一トシテ瓦解セサル者ナク
太子ハ唯[オルリーンスノ孤城ヲ守リ危急旦タニ
迫テ盡ク皆恢復ノ望ヲ絶チシガコハニ一女子ア
リ[ジョアンダルク]ト云フ年甫テ十八自カラ天使ト
稱シ佛蘭西恢復ノ命ヲ天ニ受ケシトテ報國盡忠
ノ大義ヲ唱ヘ遂ニ[オルリーンスノ圍ヲ破リ太子
ヲ奉シテ[レイミスニ至リ即位ノ禮ヲ行ヘリコレ

ヲ第六世[チャーレス]トス干時千四百二十九年ナリ
爾後女將ノ勇義ヲ以テ漸ク諸城ヲ恢復シタレ𪜈
[コムペン]城ノ急ヲ援ケシ𪜈城將一婦人ト功名ヲ
與ニスルヲ耻チ[ジョアンダルク]ヲ欺テ敵軍ノ中ニ
陷レ英人捕ヘテ之ヲ燒殺シタリ○英佛ノ兵ヲ搆
スルヿ年既ニ久シ双方唯其國力ヲ疲弊セシムル
ノミナリシガ後[ブルゴンヂー]ノ君佛蘭西王ト和
議ヲ結テヨリ佛人ノ勢俄ニ面目ヲ改メ千四百三
十五年[パリス]ノ人民城門ヲ開テ國王ヲ迎ヘコレ
ヨリ國内ノ諸都皆首府ノ例ニ倣テ降伏スルモノ

益多ク數年ニシテ盡ク舊土ヲ恢復シ[カレイ]ノ一
都府ヲ除クノ外ハ佛ノ國内ニ英人ノ跡ナシ○百
年ノ干戈始テ止ミ人口俄ニ繁殖シテ百工次第ニ
榮ヘ人民恒ノ産ニ就テ又往時ノ艱苦ヲ知ラス王
室ハ宗祖遺傳ノ策ヲ誤ラスシテ次弟ニ封建世禄
ノ權ヲ制シ第十一世[ロイス]ニ至テ王威益〻盛強ヲ
致セリ[ロイス]ノ為人狡猾ニシテ偽計ニ富メリ多
方ニ策略ヲ運ラシテ貴族ヲ殺シ千四百七十七年
ニハ[ブルゴンヂー]ノ君[チャーレス・ゼ・バルト]ヲ欺テ
死ニ陷レ其領地ノ大半ヲ割テ王室ニ併セリ蓋シ

ブルゴンヂーハ佛蘭西ノ一大諸侯ニシテ數百年ノ間跋扈セシモノナリ其他アレジュー[アレジュー]メーン[メーン]プロウェンス[プロウェンス]等ノ地ヲ取テ南ノ方地中海ニ至ルマテ盡ク王土ニ屬シ又西北ノ地方ハブリタニー[ブリタニー]侯ノ領地ニテ多年獨立ノ勢ヲ成セシガ第八世チャーレス[チャーレス]ブリタニー[ブリタニー]ノ公主アンナ[アンナ]ヲ娶テ其領地全ク王室ノ版國ニ歸シタリ此時代ニ至テ火器ノ用法世ニ弘マリ弓馬ノ道次第ニ廢棄シテ封建世祿ノ貴族等又昔日ノ顔色ナシ從來世祿ノ家ニ生レシ武士ハ假令ヒ薄祿寒貧ト雖ヒ軍役ノ重キヲ以テ大ニ

權威ヲ振ヒシカ比當時ノ勢ヲ以テ之ヲ見レハ其功用錢ヲ與テ雇ヒシ歩兵ニモ若カズコレヨリ封建ノ制度俄ニ破レ英國ニ於テハ國ノ權柄下ニ歸シテ自由寛大ノ政躰ヲ立テ佛蘭西ニテハ其權威上ニ集リ一君親裁ノ政府ヲ固クシタリ○第八世チャーレス[チャーレス]ノ時ニ至テハ國既ニ富ミ兵既ニ強シチャーレス[チャーレス]天稟ノ氣力ナシト雖ヒ其國ノ富強ヲ賴テ妄ニ大志ヲ抱キ歴山王及ヒチャーレヤン[チャーレヤン]ノ事ヲ行ハントテ千四百九十四年兵ヲ發シテ伊太里ヲ征シ子ープル[子ープル]ニ克ツレヒ之ニ克ツコ速ナレハ之ヲ

失フコモ亦速ナリコレヨリ數年ノ間佛人ハ伊太里ノ師ニ奔走シテ財ヲ費シ生命ヲ失ヒ所得ヲ以テ所失ヲ償フニ足ラス世ノ諺ニ云フ伊太里ノ國ハ佛蘭西人ノ墓所ナリト其言當レリ千四百九十八年第八世（チャーレス）死シテ子ナシ其再從弟（オルリーンス）ノ君ヲ迎テ位ニ即カシムヽ之ヲ第十二世（ロイス）トス（ロイス）モ亦先王ノ志ヲ繼キ伊太里ヲ取ラントシタレヒ功成ラス千五百十五年死シテ子ナシ（ロイス）王ハ節儉ニシテヨク民ヲ愛シ即位ノ後舊來ノ稅額ヲ半減シ戰爭ノ為ニ政府ノ費用

多カリシト雖ヒ嘗テ國民ノ煩ヲ為サス王常ニ云フ朕ハ吝嗇ヲ以テ朝臣ノ嘲ヲ取ルモ奢侈ヲ以テ萬民ヲ泣シムル莫ラント欲スト疾ノ病ナルニ及シテ（ロイス）ノ君ヲ召テ嗣子ニ定メ其手ヲ執テ云ク朕今死ス此遺民ヲ以テ汝ニ託スト蓋シ死ニ臨ムマテ民ヲ忘レザルナリ唯在位ノ間其失策ハ伊太里戰爭ノミ（ロイス）ノ君位ニ昇リ之ヲ第一世（フランシス）トス（フランシス）即位ノ初ハ頻ニ伊太里ニ克チ殆ントコレヲ押領スルノ勢アリシガ此時ニ當テ日耳曼帝第五世（チャーレス）西班牙王ニテ

日耳曼帝ニ選擧セラレ兩國兼有ノ一君ナリ天資英邁既ニ西班牙ノ冨強ヲ有シ又日耳曼ノ帝位ニ昇リ威名赫々トシテ歐羅巴ノ諸邦ヲ轟シ佛蘭西王ノ伊太里ニ克ツヲ見テ之ヲ悅ハス兵ヲ發シテ佛ヲ改メ遂ニ二大國ノ爭端ヲ開キ佛王慓悍ニシテ善ク戰フト雖モ[チャーレス]ノ沈勇ニ敵スルヿ能ハス千五百二十五年[パウィヤ]ノ一戰ニ敗シ俘ト爲リテ[マドリット]西班牙首府ニ送ラレタリ佛人ハ其君ヲ失ヘ[ド]其國躰ヲ失ハズ力ヲ併セテ敵ヲ防キ遂ニ辱ヲ受ルヿナシ[フランシス]禁錮ヲ免カレテ國ニ歸リシ後モ敢テ其節

ヲ變セス日耳曼帝家ノ權ヲ殺カントシテ專ラ其策ヲ運ラシ傳テ第二世[ヘヌリ]ノ世ニ至テモ佛蘭西ノ國論ハ日耳曼ニ敵スルノ趣意ニテ兵ヲ用ルヿ三十年遂ニ佛蘭西ノ獨立ヲ固クセシノミナラス他ノ歐羅巴諸國モ佛ノ力ニ依賴シテ安全ヲ保ツモノ多シ此時ニ當テ佛蘭西ノ風俗漸ク盛美ヲ致シ王公冨豪皆文學ノ貴ヲ知テ其教ヲ助成シ諸家文人陸續輩出シテ佛語ノ美ヲ盡シ圖画彫刻土木ノ學一樣ニ進歩セザルモノナシ千五百年代ノ初ヨリ五十年ノ間ハ佛蘭西ノ歷史ニ於テ文明ノ

時代ト稱ス可シ治極テ亂又生ス千五百年代ノ共ヨリ宗旨改革ノ爭論ヲ以テ遂ニ干戈ヲ邦内ニ動カシ五十年ノ日月ハ復タ晦冥ノ亂世ニ陷リタリ初メ第一世フランシス在世ノ項ヨリ宗旨改革ノ議論漸ク佛蘭西ニ行ハレ就中教師カルウィンナル者其說ヲ首唱シ同志ノ徒甚タ多シ之ヲ「ヒューゴノット」ノ黨ト云フ其初メ新教ニ歸依スル者ハ唯貴族大家ノミナリシガ次第ニ全國ニ流行シテ無學下流ノ小民ヲ除クノ外ハ國中大半ノ人皆「プロテスタント」即チ新教ナリ小民ノ歸依スル宗旨ハ天主教ナリ今日ニ至ルマテ佛蘭西ノ人ハ天主教ヲ奉ズルニ改宗スルノ前アリ第一世フランシス第二世ヘヌリ新教ノ流行ヲ止メントシ禁制ノ令ヲ下タシタレトモ人情ノ趣ク所如何トモス可ラス禁令ヲ下タシテ却テ其流行ヲ促シ新教ニ移ル者日ニ多ク其勢次第ニ盛大ヲ致シテ唯自由ニ宗旨ヲ奉信スルノミナラズ甚タシキハ政治ノ權ヲモ宗旨ノ内ニ籠絡セントスルノ勢ヲ成シ恰モ國内別ニ共立ノ一政府ヲ設タルガ如シ當時佛蘭西ノ如キ一君親裁ノ國ニ於テハ此新宗ノ勢ヲ見テ政府ノ安ンゼザルハ固ヨリ論ヲ俟タズ廟堂ノ人或ハ

變通ノ策ヲ獻シ之ヲ鎮撫セントセシ「モアレ」ドモ鎮撫ノ策ハ固ヨリ永久ス可キニ非サレバ事遂ニ成ラス乃チ其策ヲ改メ王室ハ天主教ヲ助ルトノ議ニ決セリコレヨリ天主教ト新教ト黨類相分レ各〻其首魁ヲ奉シ議論日ニ沸騰千五百六十年第二世「フランシス」ノ時ニ始テ兵端ヲ開キ千五百九十八年ニ至テ漸ク平定ニ歸シタリ第九世「チャーレス」及ヒ第三世「ヘヌリ」ノ在位ハ二代ヲ合シテ僅ニ二十八年ニ過キス此間ニ双方ノ黨類兵ヲ交ル「ヘ」度財ヲ費シ命ヲ落ス「」舉テ計ル可ラス新教ノ首魁ニテ最モ有名ナル者ハ水師提督「コリグニ」是ナリ天主教ノ黨ハ「ヂューク・ヲフ・ガイス」ヲ以テ巨魁ト為シ双方互ニ其説ヲ固執シテ解ケス千五百七十二年第九世「チャーレス」在位ノ時天主教ノ諸長竊ニ會同シ新教ノ黨類ヲ盡ク殺戮シテ葛藤ノ根ヲ絶タントノ議ヲ決シ第八月二十四日「パリス」ノ府内ニ於テ不意ニ兵ヲ發シ先ツ水師提督ノ家ニ入テ之ヲ殺シ其他新教ニ關係セルモノハ事跡分明ナラスト雖ドモ貴賤老幼ヲ問ハスシテ屠戮ヲ加ヘ白髮ノ病老鮮血ニ染ミ初生ノ赤子母ト共ニ斃レ屍

骸山ヲ成シ流血杵ヲ漂ハシ其惨酷名状スルニ堪ヘス八日ノ間ニ五千人ヲ殺シタリト云フ後世コレヲ「バルゾロミュー」ノ屠戮ト名ツク蓋シ第八月二十四日ハ「バルゾロミュー」ノ祭日ナルヲ以テ此名ヲ下タシタルナリ此殺戮ヲ行フト雖ヒ新教ノ人ハ尚其節ヲ執テ動カス下テ千五百八十九年第三世「ヘヌリ」刺客ノ爲メニ殺サレテ子ナシ遺命シテ其女壻ナレ「ナワレ」ノ君ニ王位ヲ傳ヘリ之ヲ第四世「ヘヌリ」トス蓋シ「ナワレ」ノ君ハ其姓ヲ「ボルボン」ト稱シ第九世「ロイス」ノ後亂ナリ故ニ第四世「ヘヌリ」ヨリ以下ノ歴代ヲ「ボルボン」ノ血統ト云フ「ヘヌリ」ハ素新教「ヒューゴノット」ノ黨ニ與ミシ其首魁ノ名ヲ得シ人ナレハ天主教ノ黨ハ之ニ服セス唯其天資剛勇ニシテ恩仁厚キ故ヲ以テ漸ク人心ヲ得タリト雖ヒ結局天主教ニ非サレハ全國ノ人心ヲ籠絡シ難キヲ知リ乃チ自カラ改宗シテ天主教ニ歸シ又新令ヲ下タシテ國内ニ「プロテスタント」ノ宗旨ヲ許シ此新教ヲ奉スル者ト雖ヒ公私ノ職業ニ就カシメ國中ノ諸處ニ出入スルヿ天主教ノ人ニ異ナルヿナシトノ趣ヲ布告シタリコレヨリ双方ノ宗

徒各其處ヲ得テ數十年ノ爭論始テ平定セリ此新令ヲ「ナント」ノ令ト稱ス○〔ヘヌリハ〕大亂ノ後ヲ承テ位ニ即キ既ニ宗旨ノ爭論ヲ和シ又隨テ國ノ富強ヲ恢復セント欲シ股肱ノ宰相〔シューリ〕ト共ニ謀テ百官ヲ整ヘ刑法ヲ正タシ稅ヲ減シ國用ヲ節シ農ヲ勸メ工ヲ勵マシ文學ヲ脩メ藝術ヲ導キ始テ政府ノ躰裁ヲ成シ風俗次第ニ敦ク衣食日ニ饒ナルヲ得タリ乃チ又先王第一世〔フランシス〕ノ志ヲ繼テ日耳曼帝ノ權ヲ制セントスルノ事ヲ企テ四萬ノ兵ヲ集メ親ラ將トシテ將サニ發セントスル

ニ當リ刺客ノ爲メニ弑セラレテ遂ニ事ヲ果サズ于時千六百十年ナリ太子繼テ立ツ之ヲ第十三世〔ロイス〕トス年甫テ九歲太后政ヲ聽キ先王ノ遺臣ヲ退ケテ嬖人〔コンシニ〕ヲ用ヒ朝政復タ亂タル〔ロイス〕年長スルニ及ヒ母氏ノ擧動ヲ見テ竊ニ之ヲ悅ハス千六百十九年嬖人〔コンシニ〕ノ黨ヲ捕テ之ヲ誅シ太后ハ出奔シテ〔ブロイス〕ニ幽居セリコレヨリ母子ノ間益〻善ラス太后密ニ近臣ト謀リ兵力ヲ以テ昔日ノ權ヲ復セントシ之ヲ試ルヿ二度ニ及ヒタレ𪜈事遂ニ成ラス黨與相分レ物論日ニ喋々

タリシガ幸ニシテ名臣[リセリウ]ノ力ニ頼リ母子ノ離ヲ慰解シテ漸ク國勢ヲ輓回スルヲ得タリ[リセリウ]ハ元貴族ノ子ナリ弱冠ニシテ法教ノ門ニ入リ既ニ英名アリ後政府ニ仕ヘ太后ノ信用ヲ得テ漸ク進ミ千六百二十四年宰相ノ位ニ昇レリ[イス]王モ亦天資暗弱ニシテ國事ニ堪ヘズ專ラ宰相ニ委任シテ内外ノ事務一切萬機[リセリウ]ノ裁斷ヲ仰カザルモノナシ其在職ノ間ニ施行シタル政治策略ノ目的ヲ見ルニ之ヲ三箇条ニ分ツ可シ即チ第十一世[ロイス]ノ遺業ヲ繼キ封建世禄ノ餘風ヲ除テ貴族ヲ靡倒シ國力ヲ王室ニ集メントスル一ノ目的ナリ又當時[プロテスタント]即チ[新教ヒューゴノツトナリ]ノ宗徒再ヒ盛大ヲ致シテ恰モ一政府ノ躰裁ヲ成シ王命ニ從ハサル者アルガ故ニ其勢ヲ殺カントスル一第二ノ目的ナリ又日耳曼ノ帝位ニ昇ル者ハ墺地利[オーストリヤ]ノ家ニ限リ其權威漸ク増大シテ諸邦ヲ并呑セントスルノ勢アレハ其勢ヲ制シテ佛蘭西ノ國威ヲ耀カサントスル一第三ノ目的ナリ以上三箇条ノ目的ハ一トシテ其策ヲ誤ラス法律ヲ嚴ニシテ貴族ヲ制シ法ヲ犯ス者ハ必ス刑罰

ヲ加ヘテ其家ヲ没入シ王室ノ親族ト雖モ嘗テ罪ヲ假サズ封建世禄ノ舊弊是ニ於テカ始テ一掃セリ千六百二十六年新教ノ宗徒ヲ攻メ其巣穴ヲ覆サンカ為メ[ロセルレ]ノ城ヲ圍テ遂ニコレヲ降タシコレヨリ國内ニ新教ヲ主張スルモノナシ宰相ノ威權ハ唯國内ニ行ハルヽノミナラス其着眼早ク既ニ外國ノ事ニ及ヒ機會ノ乘ス可キアレハ嘗テ之ヲ誤ラス日耳曼ノ亂ニ投シテ[ライン]河東ノ地ヲ取リ墺地利ヲ服従セシノ西班牙ヲ征シ其威名遠ク歐羅巴諸邦ニ轟テコレヲ恐怖セザルモノナシ功既ニ成リ名既ニ遂ケ千六百四十二年病ヲ以テ死ス翌年第十三世[ロイス]モ亦世ヲ終レリ在位三十三年嘗テ政務ニ關ラス唯宰相ニ任シテ疑ハサルノミ[リセリウ]ノ為メ人殘忍ニシテ權謀多ク且其一身ノ行状モ傲慢無禮見ル可キモノナシト雖モ國歩艱難ノ時ニ當テ政府ノ大權ヲ執リ其事ヲ行フニ至テハ規模常ニ洪大ニシテ成功美ナラザルハナシ遂ニ立君獨裁ノ政躰ヲ固クシ王威赫奕ノ基ヲ開キシハ其功業亦大ナリト云フ可シ嘗テ人ニ告テ云ク新法ヲ設ルハ舊制ヲ實地ニ施スノ

便ニ若カス國ノ惡弊ヲ除クノ要ハ言語ニ在ラス
シテ實行如何ニ在リト蓋シ宰相ノ心事ナリ魯西
亞帝第一世「ペイトル」佛蘭西ニ在ルヤ嘗テ「リセリ
ウ」ノ碑ニ謁シ歎シテ云ク嗚呼大人ナル哉君若シ
余ニ教ルニ余ガ半國ヲ治ルノ術ヲ以テセバ他ノ
一半ハ擧テコレヲ君ニ贈ラント英雄相慕フノ情
見ル可シ○第十四世「ロイス」位ニ即クヤ年僅ニ五
歳先王ノ遺命ニ由リ太后政ヲ攝シ王ノ叔父「オル
リーンス」ノ君コレヲ補佐セリ後又太后ノ命ヲ以
テ伊太里ノ人「マザリン」ヲ用ヒ宰相ノ職ニ任シテ

國事ヲ托シ其威權「リセリウ」ニ異ナラス此時ニ佛
蘭西ハ日耳曼及ヒ西班牙ニ敵對シテ國事多端ナ
レトモ兵ニ將タル者ハ「グレート・コンデイ」等ノ人物
アリテ外ニ戰ヒ内ニハ宰相「マザリン」ノ經濟ヲ以
テ財用ヲ理シ國王幼冲ナリト雖モ内外ノ侮ヲ取
ラス千六百六十二年「マザリン」死シテ政府ノ權柄
始テ國王「ロイス」ノ爲ニ父ニ異ナリ天
資豪邁ニシテ英斷アリ恒ニ自カラ謂ラク天ノ人
君ヲ生スルハ天ニ代テ事ヲ爲サシメンヤスルノ
趣旨ナレハ必スコレニ一種ノ明德ヲ附與スルモ

ノナリト其說殆ト夢想ニ近シト雖ドモ之ヲ信シテ疑ハス既ニ自尊ノ心ヲ生シ功ヲ貪テ飽カス難ニ遭テ恐レス遂ニ一世ノ洪大ヲ致シタルナリマザリシ棄世ノ即日ヨリ萬機皆王ノ親裁ニ出テ宰相大臣ノ如キハ唯書記ノ用ニ使役シテ王命ヲ傳ヘシムルノミ[コルベルト]ロヲウオイス等ハ稍ヤ宰相ノ權アリシ者ナレドモ王ノ籠絡ヲ脫シテ自カラ功ヲ顯ハスヲ得ズ然レドモ當時佛蘭西ニテ富國利用ノ術ヲ施シ政府ノ歲入モ饒ナルヲ得シハ實ニ宰相[コルベルト]ノ功ナリ衣食漸ク洽ク子クシテ智學モ

亦次第ニ進ミ文明開化期シテ待ツ可キノ勢アリ

○千六百六十七年英ト和蘭トノ間ニ事ヲ起シ佛蘭西ハ和蘭ヲ援クテ軍艦ヲ出シ蘭ノ海軍總督[ロイトル]英ノ首府ニ入リ英人敗走シテ事既ニ平ラギタレドモ各國ノ政府佛蘭西ハ日ニ強盛ナルヲ見テ自カラ安ゼス英國、和蘭、瑞典ノ三國竊ニ結約シテ佛蘭西王ニ迫リ[ピレニース]ニ盟テ各國ハ其侵地ヲ返サシメ大ニ佛ノ國威ヲ制シタリ佛蘭西王ハ素ヨリ此條約ヲ悅ハス殊ニ和蘭人ノ舉動ヲ憤ルヿ甚タシ乃チ先ツ策略ヲ施シテ英蘭ノ交ヲ絕

タシメ千六百七十二年十萬ノ兵ヲ發シ親カラ將トシテ和蘭ニ入リ力ヲ盡シテ之ヲ攻レドモ蘭人モ亦弱敵ニ非ラス全國内一人トシテ報國ノ義ヲ忘ルヽ者ナク死ヲ守テ佛ノ兵ヲ防キ陸戰ハ利アラズト雖ドモ海上ノ戰ニハ和蘭ノ本色ヲ失ハス名將ロイトル[ルイトル]ノ智勇ヲ以テヨク英佛ノ海軍ニ敵シ遂ニ本國ノ名舉ヲ汚スヿナシ當時歐羅巴諸邦ノ政府和蘭ヲ救フノ情ニ切ナラスト雖ドモ佛蘭西王ノ威勢ヲ見テ唇亡齒寒ノ患ヲ恐レ日耳曼連國西班牙ノ三國兵ヲ出シテ和蘭ヲ援ケ英國モ亦策ヲ變シテ同盟ニ與シ又一場ノ大戰爭トナレリ此時ニ當テ佛ノ將軍ニゲレート・コンデイ[ゲレート・コンデイ]及ヒチューレン[チューレン]アリ日耳曼ノ將軍ニモンテシク[モンテシク]アリ和蘭ノ將軍ハ則チ第三世ヰルレム[ヰルレム]ナリ天下有名ノ四大將各其智略ヲ振ヒ或ハ勝チ或ハ敗シ戰爭ノ闌ナルニ至テハ唯用兵ノ巧拙ヲ競ヒ妄ニ人ヲ殺シテ戰ノ本意ヲ忘ルヽヿ多シ數年ノ間ニ各國ノ力全ク疲弊シテ皆兵革ニ倦ムノ色アリ乃チ英國王ノ周旋ヲ以テ和議漸ク成リ千六百七十五年和蘭ノニムゼン[ニムゼン]ニ會同シテ各國和睦ノ條約ヲ結ヘリ此度ノ

戰爭ハ元和蘭ヨリ起リシヿナレ𪜈和議成ルニ及テ和蘭ハ嘗テ其舊物ヲ失ハス地ヲ割キ國威ヲ落トシタル者ハ却テ西班牙ト瑞典（スエーデン）トノミ佛蘭西王ハ和議ノ𪜈既ニ其盟主ト為リ王ノ意ヲ以テ條約ノ箇條ヲ定ノ土地ヲ得ルヿ少ナカラス意氣揚々トシテ又天下ニ敵ナキガ如シ和蘭合衆政治ノ大統領（井ルレム）即チ第三世井ルレムナリ當時和蘭ハ合衆政治ナリノ如キハ佛人ノ竊ニ輕蔑セル所ナリシガ豈計（井ルレム）ノ謀ヲ以テ再ヒ各國ヲ連合シテ佛ノ跋扈ヲ制センカ為（オウグスボルフ）ニ會盟セリ連合ノ國ハ輿地

利和蘭瑞典（サウヲイ）日耳曼ノ一國是ナリ佛蘭西王コレヲ聞キ敵ニ先テ事ヲ發シ皇太子ヲシテ十萬人ニ將トシテ日耳曼ニ入ラシメ（ヒリプスボルフ）（メンツスハイルス）等ノ諸府ヲ攻テ立トコロニ之ヲ灰燼ト為シ佛兵ノ鋒ニ當ルモノナシ事未タ平ラガス千六百八十八年遇英國ニ亂ヲ生シ國人英王第二世ゼームス（ゼームスノ惡政ヲ憤テ之ヲ逐ヒ王ノ女壻和蘭ノ井ルレム）ヲ迎テ王位ニ奉セリコレヨリ第三世井ルレム）ハ英吉利ノ王位ニ居テ和蘭ノ政ヲ兼テ兩國一君ノ勢ヲ以テ佛蘭西ノ好敵手ト為レリ第

二世[セームス]ハ佛蘭西ニ出奔シ佛王コレヲ扶ケテ英ニ入レンスレ𪜈克タズ此時ニ至テ歐羅巴ノ本州英ノ二島ヲ除キ他ヲ本州ト云フ ニ於テハ戰爭方々ニ闌ナリ佛ノ陸軍常ニ利ヲ得テ井ルレム モ亦敗走スルニ至レ𪜈ケーブ・ラ・ヘーグノ近海ニ於テ英蘭ノ軍艦佛蘭西ノ艦隊ヲ殲シテヨリ佛ノ海軍復タ振ハス干戈年既ニ久シク各國ノ政府敢テ和ヲ講スルノ意ナシト雖𪜈事實其國力ヲ竭シテ窘迫ノ餘リニ一時ノ無事ヲ企望シ乃チ和蘭ノ[ベース井ッキ]ニ會シテ和議ヲ結ヒ佛蘭西ヲシテ盡ク其侵地ヲ返サシ

メリ實ニ千六百九十七年ナリ佛蘭西ノ國民ハ此條約ヲ悅ハスト雖𪜈ロイス ノ深意ハ機ニ乘シテ暫時ノ太平ヲ買ヒ他ニ一事ヲ企テント欲スルニ在リ蓋シ其一事トハ西班牙ノ王位相續ノ議論即是ナリ西班牙王第二世[チャーレス]老シテ子ナシ歐羅巴ノ人皆其將來ノ相續ニ耳目ヲ着ケザル者ナシ[チャーレス]ノ骨肉ヲ尋ルニ其最モ近親ナル者ハ佛蘭西王第十四世ロイス 及ヒ日耳曼帝レオポルト 是ナリ佛、日、ノ兩君密ニ謀リ西班牙王ノ死後ニハ其國ヲ二分シテ兩君ノ子ニ與フ可シトノ事ヲ

約セリ西班牙王此密謀ヲ探得テ大ニ憤リ故サラニ［バヲリヤノ君］ヲ迎テ嗣子ニ定メタレ𪜈此君早ク死シ爾後王モ亦前日ノ憤ヲ忘レ佛蘭西王ノ孫［アンジュー］ノ君ヲ選テ西班牙ノ國位ヲ傳ヘリコレヲ第五世［ヒリップ］トス日耳曼帝ハ全ク其策ヲ失シテ得ル所ナケレハ佛ニ對シテ怨ヲ結フト雖𪜈未タ各國ノ應援ヲ得ス此時ニ當テ前キノ英國王第二世［ゼームス］國ヲ逐ハレシ者佛蘭西ニ死シ佛王復タ［ゼームス］ノ子ヲ助ケテ英ニ入レントスルノ謀アリ英人コレヲ聞テ大ニ悅ハス元来英ノ政府ハ西班牙ノ事ニ關ラスト雖𪜈佛蘭西王ノ虜置ヲ怒テ乃チ兵ヲ發シ英蘭兩國ノ力ヲ合シテ日耳曼ノ應援ヲ為セリ當時日耳曼ノ軍ヲ師ル者ハ［プリンス・エウゼン］英蘭兩國ノ兵ヲ指揮スル者ハ英國ノ將軍［マルボロウ］全權ヲ以テ号令ヲ施シ進退意ノ如クナラザルハナシ反テ佛蘭西ノ朝廷ニ於テハ第十四世［ロイス］其夫人［メンテノン］ニ惑溺シテ内臣事ヲ用ヒ將師ニ任スルヿ固カラザルカ故ニ兵ニ將タル者ハ閫外ノ權ヲ專ニスルヿ能ハス動モスレハ機會ニ後レテ利ヲ失フヿ多シ千七百四年佛蘭

西ノ將軍「タラルド」及ヒ「マルヂン」六萬ノ兵ヲ以テ「バワリヤ」ノ君ニ從ヒ日耳曼ノ合兵六萬人トホク「ステット」ニ戰テ佛軍利アラズ同年「ジブラルタル」ノ要地（西班牙ノ南方地中海ノ咽喉ナリ）モ英人ニ奪ハレタリ伊太里ノ地方ニ於テハ佛軍稍勢ヲ得テ一時日耳曼ノ兵ニ克テ「チューリン」ヲ圍タレヒ日ノ將軍「エウゼン」コレニ赴キ忽チ其圍ヲ破テ佛ノ兵威復タ振ハス佛蘭西ノ國内ニ於テハ王室ノ子弟頻リニ病死シテ既ニ王ノ氣膽ヲ落シ又之ニ加フルニ饑饉ヲ以テシ災禍並到リ事情止ヲ得スシテ遂ニ和ヲ求ルノ

談判ニ及ヒ同盟ノ各國モ初メハ佛ノ請求ヲ拒ミタレヒ日耳曼帝ノ死スルニ會シ英ノ政府先ツ其策ヲ變シテ和議ヲ講シ和蘭日耳曼モ其例ニ倣テ双方和親ノ條約ヲ結ヘリコレヲ「ユトレフト」（和蘭ノ都府）ノ會議ト稱ス干時千七百十二年ナリ西班牙ノ相續ニ由リ各國ノ兵ヲ動カシテヨリ「ユトレフト」ノ和議ニ至ルマテ十二年ノ久シキニ亘リ佛蘭西ノ兵利ヲ失フヿ多カリシト雖ヒ未タ其國ノ面目ヲ穢サス西班牙王ノ位ハ遂ニ「ボルボン」ノ家（佛蘭西王家ノ姓）ニ歸シタリ○千七百十五年第十四世「ロイス」

死ス齡七十七在位七十二年太子早ク死シ此他王室ノ親族モ死亡多クシテ位ヲ嗣ク可キ者ナシ乃チ王ノ曾孫ブルゴンヂーノ君ヲ迎立ツ之ヲ第十五世ロイストス年甫テ五歲先王ノ姪オルリーンスノ君ヒリップ後見職ニ任シテ政ヲ攝ス第十四世ロイスノ時ヨリ連年ノ戰爭ヲ以テ全國中ノ貧困ヲ致シ第十五世ロイスノ初年ニ至リコレヲ救ントシテ却テ又一層ノ疲弊ヲ極メリ蘇格蘭（スコットランド）ノ人ロウナル者智慧アリテ理財ニ巧ナリ本國ヲ亡命シ佛蘭西ニ來テ後見職ヒリップニ謁シ紙幣ヲ以テ國

債ヲ償フノ策ヲ獻シテ大ニヒリップノ信任ヲ蒙リ乃チ其策ヲ施シ又政府ノ權ヲ以テ商人ノ會社ヲ結ヒ北亞米利加ニ在ル佛蘭西領ノ地ト貿易ヲ開キ一時其壟斷ヲ私シテ利ヲ得ルヿ多シ國中ノ人其利潤ノ大ナルヲ見テ俄ニ貪欲ノ心ヲ生シ爭テ商社ノ手形ヲ買ヒ隨テ手形ノ價ハ騰貴スレ𪜈之ヲ買フ者益〻多シ商社ハ機ニ乘シテ妄ニ手形ヲ出タヒ國人或ハ產ヲ空シテ唯此手形ノミヲ貯ル者アリ是ガ爲國ノ金銀ハ次第ニ減少シテ手形ハ次第ニ增シ遂ニ又手形ノ價下落スルニ至レリ一旦

下落ノ萌アレハ其勢止ム可ラス商社ニ行テ引(ヒキカヘ)替ヲ求レハ商社ハ固ヨリ之ヲ替ベキ術ナケレバ手形ノ通用忽チ止マリ名ハ千萬ノ財ヲ有スルモ其實ハ一片ノ故紙ヲ抱ケルカ如クシテ産ヲ破リ衣食ヲ失フ者舉テ計フ可ラス[ロウ]ハ國民ノ憤怒ヲ恐レテ竊ニ佛蘭西ヲ出奔セリ初メ[ロウ]ノ佛ニ来リシハ嘗テ博奕ニ贏チシ所ノ金五十萬[ドル]ヲ所持シ其後商社ノ全權ヲ以テ巨萬ノ富ヲ致タレハ出奔ノ時ハ僅カニ其生命ヲ全フシテ身ニ携ヘシモノハ八百金ノミナリシト云フ○[ユトレ]

[ユトレ]ノ和睦ヨリ以来數年ノ間天下無事ノ日ニ屬シタリシガ西班牙ノ謀臣[アルベロニ]ナル者アリ安ニ大事ヲ企テ英吉利ノ王ヲ廢シテ其舊君第二世[ゼーム]ノ子ヲ立テ日耳曼ニ叛テ西班牙ノ舊地ヲ恢復シ西班牙ノ王ヲ以テ佛蘭西王ノ後見職ト定メテ遂ニ西、佛ノ兩國ヲ併セントスルノ策ヲ運ラシ事未タ發セズシテ密謀先ツ露顯シ英、佛、日耳曼兵ヲ合シテ其罪ヲ問ヒ西班牙王コレニ敵スルヿ能ハス乃チ[アルベロニ]ヲ放逐シテ罪ヲ謝シ事速ニ平定セリ○千七百三十四年[ポーランド]ノ王オー

グスタフス死ス國人共ニ議シテスタニスロース先キニ出奔シタルポーランドノ王ナリーダスチュスニ左祖シテ魯西亞ニ謀リ兵ヲ發シテ又スタニスロースヲ逐ヒオーダスチュスノ子ヲ立テリ佛蘭西王ハ外戚ノ故ヲ以テスタニスロースヲ助ケ遂ニ又佛蘭西ト日耳曼トノ師ヲ起シタレ佛ノ宰相フローリ戰ヲ好マズ日耳曼帝モ亦老シテ唯一女子アルヲ以テ男子ニ位ヲ傳ルノ舊法ヲ改メントスルノ欲アリ乃チ和議ヲ結テ佛蘭西ハ侵地ヲ有シ日耳曼帝ハ位ヲ女子ニ傳フ可シト

ノ事ヲ約定セリ此條約ニハ各國ノ政府モ皆調印シタレ氏日耳曼ノ將軍プリンス・エウゼン獨リコレヲ悅ハスシテ云ク約束ヲ踐マント欲セハ萬卷ノ條約書ヲ以テ之ヲ固クスルヨリ一百ノ兵ヲ以テ之ヲ守ルニ若カスト其言果シテ然リ千七百四十年日耳曼帝死シテ其女子マリヤ・テレサ位ニ即キ一杯ノ土未タ乾カズ四國ノ君王早ク既ニ帝位ヲ窺ヒポーランドバヅリヤ西班牙サルヂニーノ君各〻其口實ヲ設テ互ニ相爭フノ勢アレ氏干戈未タ動カザリシガ先ツ戰爭ノ端ヲ開キシ者ハ普魯プロシ

士王第二世フレデリッキナリ是ヨリ先キ普魯士ハ微々タル一小國未タ嘗テ歐羅巴ノ大事ニ関ラス四五十年以来窺ニ富强ノ策ヲ施シテ千七百四十年第一世フレデリッキノ死スル時貯畜ノ金六百萬「ドルラル」兵士七萬二千アリ第二世フレデリキ不世出ノ英才ヲ抱テ父祖ノ餘業ヲ繼キ羽翼既ニ成テ將サニ翔ラントスルノ勢アレ氏人コレヲ知ル者ナシ同年日耳曼帝死シテ後二月ニシテ普魯士王第二世フレデリッキ三萬ノ精兵ヲ卒ニ突然トシテシレシヤ日耳曼帝ノ領地ニ顯ハレ始テ天下ノ耳目ヲ驚カセリ普魯士王無根ノ議論ヲ主張シテ此地方ヲ取ラントシ其口實ハ善ナラザルモ其兵備ノ善ナルヲ以テ忽チコレニ克チ爾後天下一般ノ騷亂ト為レリコレヲ墺地利相續ノ師ト云フ墺地利ノ家ハ即チ日耳曼帝ノ家ナリ佛蘭西政府ハ此機會ニ投シテ日耳曼帝家ノ權威ヲ壓倒セントスシ乃チバワリヤノ君ヲ奉シテ日耳曼帝ト爲シ大兵ヲ發シテ日耳曼ニ入リ戰フトシテ勝タザルハナク女帝ハ出テヽホンガリヤニ遁レ日耳曼ノ存亡且タニ迫ントレ氏女帝行在所ニ於テ兵ヲ募リ遂ニ復タ佛軍ヲ破テ

バワリヤノ君ヲ逐フヿヲ得タリ此時ニ英國王第二世ジョージ舊國ノ故ヲ以テハノーウルヲ領シ一第世ジョージハモトハノーウルノ君ニシテ英國王ノ位ニ即キ爾後英トハノーウルトハ兩國一君ナリハノーウルハ日耳曼同盟ノ國ナレバ英ノ政府モ亦日耳曼帝ノ應援ヲ爲セリ佛蘭西ハモトバワリヤヲ援ルノ趣意ニテ兵ヲ發シタレヒ宰相フローリノ死後ハ戰議ヲ拒ム者ナク專ラ國力ヲ盡クシテ兵ヲ用ヒ恰モ首唱ノ勢ヲ成シ英人モ亦他ヲ顧ミスシテ佛蘭西ニ敵シ双方戰ノ本旨ヲ忘レテ唯二大國ノ强弱ヲ競フニ至レリ千七百四十三年デッチンゼンノ戰ニハ佛人敗走シ千七百四十五年ホンテノイニ於テハポーランドノ王子サクセ佛軍ニ將トシテ英人ヲ破リ英ノ陸軍復タ振ハス但シ水戰ニ於テハ英人常ニ利アリ其後英ノ國内ニ事變アリテ外國ニ兵ヲ出タスヿ能ハス佛蘭西モ亦和議ヲ欲シテ千七百四十八年日耳曼ノアキスラシャベルニ會シテ和睦ノ條約ヲ結ヘリ抑ヒ此條約ノ始末ハ實ニ笑フ可キノ甚シキモノト云フ可シ其戰爭ヲ起シタル因緣ハ墺地利ノ地ヲ分裂シ其女帝ヲ廢セントスルノ趣意ナリシニ和議ヲ結フニ

至リ輿地利ハ唯シレシヤノ地ヲ普魯士ニ奪ハレシノミニテ他ニ失フモノナク女帝ハ位ニ在テ各國ノ政府モコレヲ認シ英モ失スル所ナク佛モ得ル所ナシ唯徒ニ數年ノ間戰ヒシノミ○アキスラシャペルノ條約中ニ云ヘルヿアリ他事ハ都テ戰爭以前ノ有様ニシテ之ヲ守ル可シ云云ト然ルニ亞細亞及ヒ亞米利加ニアル英佛ノ所領相鄰シテ未タ其境界ヲ定メザルモノ多シ千七百四十九年ニ至リ佛蘭西ノ人北亞米利加ニ於テカナダノ境ヘ英人ノ次第ニ侵入スルヲ責メ此時合衆國ハ未タ獨立セズカナダハ佛蘭西領ニテ英領ニ鄰セリ英人ハ却テ佛人ノ英領ヲ侵スヿヲ責メ爭論決セザルヿ久シ千七百五十五年英ノ政府不意ニ軍艦ヲ發シテカナダ守護ノ佛船ヲ襲ヒシニ佛蘭西王モ亦直ニ兵ヲ舉ケタリ是即チ七年ノ師ノ始ナリ所謂七年ノ師ニ於テハ佛蘭西ト墺地利ト連合セリ蓋シ此二國ハ二百年来ノ舊敵ナリ又英國ハ普魯士トカヲ合セリ此二國モ互ニ強盛ヲ始ムヿ久シ友敵ノ變化斯ノ如シ其事情ノ混雜亦推テ知ル可キノミ戰爭ノ始ニ於テハ佛人頻リニ克チカナダニテハ英人ノ跋扈ヲ制シ日耳曼

ニ於テモ英ノ将軍コンベルランド佛蘭西ニ降テ
ハノーウル ノ地ヲ失ヒ普魯士王モ墺地利ノ将軍
ダウン ニ破ラレタレ共千七百五十七年ロスバス
ノ勝敗ヲ以テ戰ノ形勢更ニ一變セリ此戰ニ於テ
ハ普魯士王其軍略ヲ逞フシ不意ニ佛墺ノ陣ヲ襲
ヒ兵ヲ交ヘスシテ二大軍ヲ破リ次テ又リッサノ戰
ニテモ勝利ヲ得勢ニ乘ジテ先キニ失ヒシシレン
ヤノ地ヲ恢復シ英人モ亦ハノーウルヲ復シタリ
普魯士王ハ頻リニ戰場ニ勝ツト雖モ其國力ハ日
ニ疲弊シ且魯西亞モ墺地利ニ與ミシ二帝國ノ兵

ヲ合シテ普魯士ニ臨ミ其滅亡期シテ待ツ可キノ
勢ナリシガ遇マ魯西亞ノ女帝エリサベス死シテ第
三世ペイトル ノ即位ニ會セリ從来ペイトル ハ普
魯士王ノ人物ニ心醉シ之ヲ助ケントスルニ切ナ
レハ帝ニ墺地利トノ交ヲ絶ツノミナラズ隨テ又
魯西亞全國ノ兵ヲ以テ普魯士ヲ救フ可シトノコ
ヲ約シタレモ未タ其約ヲ果タサズシテペイトル
位ヲ廢セラレ第二世カタリナ ノ世ニ至テハ局外
中立ヲ守レリ普魯士王ハ事變ニ遇テ氣力ヲ屈セ
ス七年ノ間ニ所得甚ダ多シ海外ニ於テハ英人所

トシテ勝タザルハナシ印度地方ニテハ佛ノ領地チャンデナゴール[ポンヂチェリ]等ヲ取リ亞非利加ニテハ[セネガル]城及ヒ[ジョージ]島ヲ奪ヒ亞米利加ニテハ西印度ノ諸嶋及ヒ[カナダ]ノ地方モ盡ク英人ノ手ニ落チタリ西班牙ノ政府英ノ海軍ノ日ニ強盛ナルヲ見テコレヲ驚キ其勢ヲ制セントシテ佛蘭西ト條約ヲ結ヒ援兵ヲ出タシタレ𪜈却テ得ル所ナク又英人ニ海外ノ所領ヲ取ラレ貿易ノ權ヲ奪ハレタルノミ○爭亂日久シク各國ノ人太平ヲ企望シテ和議漸ク行ハレ千七百六十三年佛蘭西

ノ首府[パリス]ニ於テ條約ヲ結ヘリ此戰爭ニ於テ利ヲ得シモノハ唯英國ト普魯士トノミ英國ニテ海外所領ノ地ヲ占メ世界中ノ貿易ヲ專ラニスル勢モ此時ニ至テ一層ノ盛大ヲ致セリ○七年ノ師ヲ以テ佛蘭西ハ盡ク海外ノ所領ヲ失ヒ其海軍モ衰微ヲ極メテ諸方ノ海ニ又一隻ノ佛船ヲ見ズ國内ノ風俗ニ至テハ其醜惡殆ト名狀スルニ堪ヘズ沈酗冒色放奢淫逸國王先ツ其例ヲ示シテ臣下コレニ效ヒ政刑ハ廢弛シ國用ハ困窮シ上下交モ信ヲ失テ民其處ヲ安セズ甚シキハ病院建立ノ爲ニ寄

附シタル金ヲモコレヲ奪テ官吏酒食ノ資ニ用ル
ニ至ル文武ノ官職或ハ寺院ノ僧官ト雖ドモ錢ヲ以
テ之ヲ賣買スレハ名ハ官職ナレドモ其實ハ狼貪飽
クヿヲ知ラサル者ノ餌食ノミ大凡佛蘭西ノ歴史
中ニ國風ノ不善ナルハ第十五世「ロイス」ノ末年ヲ
其最トス概シテコレヲ云ヘハ第十五世「ロイス」ハ
無財無政無禮ノ國ヲ遺シテ其子ニ傳ヘシ者ト云
フ可シ千七百七十四年第十五世「ロイス」痘瘡ヲ病
テ死ス齢六十四在位五十九年其人物ノ不良ナル
ハ在世ノ事業ヲ見テ知ル可シ死スルニ至リ人民

皆コレヲ一國ノ幸トシテ其死ヲ祝セザル者ナシ
ト云フ太子早ク死シ嫡孫立ツ之ヲ第十六世「ロイ
ス」トス此君ハ幼年ノ時ヨリ祖父ノ行ヒヲ悦ハス
即位ノ年二十歳既ニ人望アリ第十五世「ロイス」ノ
末年ニハ佛蘭西ノ政府内外ノ戰ニ敗衂シ政治廢
壞ノ極度ニ至タレドモ其文學ハ嘗テ衰微セザルノ
ミナラズ益盛美ヲ致シテ諸邦ヲ壓倒シ恰モ武ニ
敗シテ文ニ勝ツノ勢アリ第十六世「ロイス」ノ世ニ
至リ此文學ヲ以テ舊弊ヲ一新セントシタレドモ如
何セン國内中人以上ノ種族放僻邪侈ノ習既ニ性

ト爲リ舊物ノ安ヲ甘シテ新法ヲ悅ハス國王ノ天資美ナリト雖モ果斷ノ勇ナク且又新法ヲ行ハントスル者モ誠實ノ大義ヲ失シテ慘酷ニ過キ一旦事ヲ發スルニ至テハ醉ヘルガ如ク狂スルガ如ク事ヲ發スルヲ知テ事ヲ脩ルヲ知ラス遂ニ數十年ノ間全國ノ大亂ニ陷リタルナリ蓋シ此大亂ノ本ヲ釀シタルハ年既ニ久シト雖モ別ニ又其近因アリ千七百七十六年亞米利加ニアル英國所領ノ人民本國ノ苛政ヲ厭フテ獨立ノ兵ヲ揚ケ自カラ亞米利加ノ合衆國ト稱シ英人ト戰テ屢利アラス使

ヲ佛蘭西ニ遣テ援兵ヲ乞ヒシニ佛蘭西王ハ之ヲ救フノ意ナシト雖モ國中ノ人民及ヒ政府ノ官吏モ常ニ英國ノ舊怨ヲ報ヒ國辱ヲ雪カントスルニ切ナレバ此好機會ヲ空フスル能ハス遂ニ亞米利加人ノ請求ニ應シテ千七百七十八年[パリス]ニ於テ亞佛兩國ノ條約ヲ結ヒ其後西班牙和蘭モ亦コレニ與ミシテ共ニ亞人ノ獨立ヲ助ケリ海上ノ戰ニハ英人頻ニ勝利ヲ得テ東印度ニアル敵國ノ所領ハ大半コレヲ奪ヒ和蘭ノ如キハ海外所轄ノ地ヲ殆ンド失ヒ盡シタレ𪜈佛人ハ西印度ノ諸島ヲ取

リ歐羅巴ノ諸方ニ於テモ英佛西班牙ノ間互ニ勝敗アリ亞米利加ニテモ戰爭久シク決セズ獨立ノ兵漸ク強盛ノ勢ヲ得テ千七百八十一年合衆國ノ將軍［ワシントン］及ヒ佛蘭西ノ將軍［ラ・フェッテイ］亞佛兩國ノ兵ヲ以テ英ノ將軍［コルンワリス］ト戰テ大ニ勝チ是ニ於テ英國ノ政府モ合衆國ノ獨立ヲ許シ各國和ヲ講シテ其舊ニ復シタリ佛蘭西人ハ亞米利加ノ戰爭ニ功ヲ成セシト雖ヒ其成功ヲ以テ却テ自國ノ騷亂ヲ促セリ此時佛蘭西ノ宰相ニ［チックル］ナル者アリ理財ニ長セリ戰爭ノ費冗ヲ償

ハンガ為國債ノ法ヲ以テ財ヲ集メ國債次第ニ增シ收稅ノ法モ亦隨テ苛刻ナルヲ以テ下民ノ怨望スルハ固ヨリ論ヲ俟ツベ且又金ヲ出シテ政府ニ貸シタル者ハ國債ノ廢壞セン［］ヲ恐レテ物論日ニ喋々タリ又先キニ亞米利加ニ行キ其獨立ヲ助ケテ戰ヒシ者ハ數年ノ間亞人ニ接シテ苦樂ヲ共ニシ自カラ不羈自由ノ風ニ浸潤シテ歸國ノ後モ其氣象ヲ脫スル［］能ハズ既ニ本國ノ苛政ヲ厭ヒ顧テ一線ノ水ヲ隔テ英吉利ヲ望見レバ亞米利加ノ戰爭ニ利ヲ失フト雖ヒ自國ノ政躰ハ嘗テ變動

セス人民皆自由ノ風化ニ浴シ意氣揚々トシテ太平ヲ樂ノリ佛人ハ内外ノ景況ヲ比較シ彼ヲ想ヒ此ヲ見テ自カラ亦寛大自由ノ風ヲ慕ハザルヲ得ス是ニ於テ當時ノ宰相カロン子一議ヲ發シ從来貴族及ヒ僧官ト稱シテ稅ヲ免レシ者ヘモ國中一般ノ法ニ從テ定額ヲ出サシメントシウエルセール貴族ヲ會シテ商議數日ニ及ベトモ事遂ニ行ハレス民情益〻不平ナリ宰相カロン子ハ其說ノ行ハレザルヲ以テ退職シブリン子之レニ代タレヒ二年ヲ經ズシテ又職ヲ辭シ乃チ復タ前ノ宰相チツク

ルヲ召シテ歸職セシメタリ初メチツクルハ貴族僧官ノ憤ニ觸レテ位ヲ失ヒシガ故ニ再勤ノ後ハ專ラ衆庶ノ議論ニ左袒シテ其地位ヲ固クセント欲シ王ニ說ニ衆庶ノ會議ヲ開ケリ實ニ千七百八十九年ナリ第五月五日ウエルセール（パリスノ西南ニ十里ニ在ル）於テ開議ノ始ニハ國王モ其席ニ臨ミ事情平穩ニシテ後患ナカル可キニ似タレヒ其實ハ然ラス貴族縉紳ノ内ニモオルリーンノ君ノ如キハ其黨與モ多ク竊ニ衆庶ヲ煽動シテ事ヲ起サシメントシ且僧侶ノ賤シキ者モ平生僧官ノ驕敖ヲ惡テ盡ク

下流ノ人ニ與セルガ故ニ衆庶ハ益〻勢ヲ得テ會議ニ出席セル名代人ナル者自カラ國會（ナシヨナル アッセンブル）ト稱シテ獨立ノ躰裁ヲ成セリ政府ハ威ヲ以テ之ヲ畏サントシ大ニ兵士ヲ集メ且此事端ヲ開キシハ宰相（チックル）ノ罪ナリトテ其官職ヲ剝キシニ人心益〻動揺シテ穩ナラス將サニ大事ヲ發セントスル勢アレモ佛蘭西ノ貴族ハ從來下民ヲ輕蔑スルノ風ニ慣レ貧賤ノ者ヲ見ルヿ犬馬ノ如ク唯兵威ヲ以テ壓伏ス可キモノト思ヒ嘗テ儆戒ノ心ナク遇マ市街ニ國會ノ群集セルヲ見テ官兵ヲ遣リコレヲ擊タシメシニ事變忽チ破裂シ一都府ノ舉動恰モ一身ノ如ク頃刻ノ間ニ市民變シテ兵士ト為リ自カラ護國兵（ナシヨナルガールド）ト稱シテ大小砲ヲ集メ武器ヲ携ル者三萬人老兵扶助ノ病院ニ屯セリ

同年第七月四日（バルチル）城ヲ襲テ城將ヲ殺シ其強盛殆ント當ル可ラス此時ニ至テ佛蘭西ノ全國黨與二類ニ分レテ其分界甚タ明ナリ朝廷ニ附屬セル貴族及ヒ國内ノ諸方ニ在ル封建世禄ノ餘類ハ難ヲ凌シテ其身分ノ權ヲ保タントシ中人以下ノ輩ハ一旦ノ成功ヲ得タルカ故ニ破竹ノ勢ニ乘シ

テ貴族ノ暴權ヲ一掃セントスルノミ國王ハ其中間ニ介マリ躊躇シテ歸スル所ヲ知ラス第八月ニ至リ二名ノ貴族ノ（デガイロン）ナル者民心ヲ鎮撫センガ為ニ從來貴族ノ身分ニ附タル特權ヲ棄テ佛蘭西國中ニ封建世祿ノ痕跡ヲ絶タントノ說ヲ首唱シテ之ニ同意スル者多カリシト雖モ嘗テ其益ナク徒ニ民庶ノ侮ヲ取ルノミ國會ノ人ハ其成功ヲ固クセントシ（ウェルセール）ヨリ國王ヲ迎ヘテ（パリス）ニ歸リ之ヲ御スル「囚俘ノ如クシ新ニ政林ヲ設ケ王ヲ要シテ新政ニ從フ可シトノ趣

ヲ擠ハシメリ是ヨリ先キ貴族王族ノ脫走スル者多ク邊境ニ集リ（コンデイ）ノ君ヲ奉シテ勤王ノ兵ヲ擧ケ其勢固ヨリ微々タリト雖モ國王ハ僅カニ妻子ト共ニ宮內ニ居リ欝々トシテ樂マザレハ乃チ出奔シテ脫走ノ兵ニ歸セン「ヲ謀リシニ其密謀發露シテ又禁錮セラレ更ニ一層ノ苦難ヲ增シタリ千七百九十二年（ブロンスウヰーク）ノ君墺地利普魯士及ヒ脫走ノ兵ニ將トシテ國會ノ巢穴ヲ覆サントスルノ新聞アリ佛人コレヲ聞テ大ニ怒リ王宮ニ亂入シテ先ツ國王及ヒ王妃王子ヲ捕ヘ政

治改革ノ說ヲ悅ハザル者ハ其罪ヲ問ハズシテ盡ク之ヲ殺シ慘酷至ラザル所ナシ就中「ジャーコビン」ノ黨類トテ「ダントン」及ヒ「ロベスピール」ナル者其魁首ト為リ最モ殺伐ヲ極メタリト云フ騷亂ノ初ニハ國會ノ議論モ平穩ヲ主トシ只管佛蘭西ノ舊法ヲ改革シテ民庶ノ通義ヲ固クシ王室ノ權威ニ分限ヲ定メテ上下一樣ニ其處ヲ得セシメントスルノ趣意ニテ專ラ輕舉暴動ヲ制シ殊ニ「ラフェッテイ」（アメリカヨリ歸リシ將軍前ニ出ツ）ノ如キハ護國兵ノ長官ト為リテ固ヨリ民庶共議ノ大義ヲ主張スルト雖モ佛

蘭西ノ人情風俗ヲ察シ決シテ勤王ノ旨ヲ失ハス危難ノ際ニ當テ屢王族ノ生命ヲ救フ等ノ處置ヲ施シ力ヲ盡シテ改革ノ成功ヲ全フセンヿヲ勉メタレ𪜈事變一度ヒ發シテ其勢復タ止ム可ラズ「ジャーコビン」ノ黨與次第ニ暴威ヲ振ヒ遂ニ國王ヲ廢セントスルノ議ヲ發シテ第十二月二十日國王ヲ裁判局ニ下タシ政躰ノ趣旨ニ從フ「信ナラストテ無根ノ罪ヲ强ヒ翌年第一月二十日法場ニ於テ斬首セリ年三十九見ル者淚ヲ垂レサルハナシ○國王殺害ノ後ハ共和政治ト稱シテ「ジャーコビン」ノ黨

類事ヲ用ヒ政府ノ舉動恰モ狂スルカ如クナレ𪜈其狂ニ觸ルヽ者ハ之ヲ殺シ國中ノ人皆惶恐セサル者ナシ殘忍既ニ甚シク不信ノ心又隨テ生シ當時事ヲ用ル者ノ說ニ耶蘇ノ宗旨ハ徒ニ人心ヲ惑溺セシムルモノナレハ之ヲ廢スヘシトテ寺院ヲ毀チ寺領ヲ沒入シ寺ノ宝器ヲ鎔カシテ錢ヲ鑄リ其錢ヲ以テ兵士ニ與ヘ國中ニ布告シテ云ク以後佛蘭西人ハ自由不羈ノ趣意ヲ信シ公明正大ノ理ニ歸依シ此大義ヲ以テ天神ニ代フ可シト粗暴モ亦甚タシ名ハ自由ナレ𪜈其實ハ然ラズ今般ノ革命ヲ以テ佛蘭西ノ政治ハ暴ヲ以テ暴ニ代ヘタルノミナラス改革ヲ望ミシ者モ自由ヲ求テ却テ殘虐ヲ蒙ルト云フ可シ○歐羅巴諸邦ノ人モ佛ノ景況ヲ傍觀スルヿ能ハス各國同盟シテ兵ヲ舉ケントシ國内ニモ政府ノ暴ヲ惡テ叛カントスル者アリ佛蘭西ノ政府ハ坐シテ之ヲ待タス敵ニ先テ事ヲ起シ内外ノ血戰ニ屢利アリ爾後漸ク「ジャーコビン」ノ兇惡ヲ厭ヒ千七百九十四年其黨類ヲ捕テ死刑ニ處シ是ヨリ共和政府ノ躰裁次第ニ平穩ニ歸シ兵威ハ益盛ナリ千七百九十五年

和蘭ヲ伐チ一ヽ舉シテ全國ヲ減シ普魯士ハ國論ヲ變シテ局外中立ヲ守リ西班牙モ佛ニ與ミシタレバ同盟ノ兵ニテ佛人ト戰フ者ハ唯英吉利ト墺地利トノミ同年佛蘭西ノ兵ハ六度ヒ大戰シテ六度ヒ勝チ都城一百二十四處ヲ攻取タリト云フ但シ海上ノ戰ニハ常ニ英人ニ勝タヽス千七百九十六年佛墺ノ間暫時ノ休戰ヲ約シ大ニ兵備ヲ整ヘテ又戰ハントス此時ニ佛蘭西共和政府ノ兵ニ將タル者ハ「ナポレオン・ボナパルテ」ナリ「ナポレオン」ハ佛蘭西ノ屬島「コルシカ」ノ人ナリ千七百六十九年第八月十五日「アヤチヨ」ニ生レ幼ニシテ奇才アリ「ブリンヂ」ノ兵學校ニ入リ十六歳ノ時大砲士官ノ位ヲ得タリ千七百九十四年「ソーロンヲ攻ル」佛ノ領地ニテ政府ニ叛キシモノトリ始テ戰場ヲ試ミテ功ヲ成シ世人皆其非凡ナルヲ知レリ其後故アリテ官ヲ免セラレ「パリス」ニ居ルヿ五年貧困極テ甚タシト雖ヒ勇氣嘗テ衰ヘス其志ノ行ハレサルヲ憤リ或ハ東洋諸國ニ行カンヿヲ想ヒ獨リ自カラ歎シテ曰ク亞細亞州ニハ六億ノ人口アリ世界中事ヲ爲ス可キノ地ナリ歐州ハ既ニ傷耗シテ見ル

可キモノナシト居無何千七百九十六年佛ノ政府兵ヲ發シテ墺地利ト勝敗ヲ決セントスルニ當リ再ヒナポレオンヲ用ヒテ伊太里（伊太里ノ北方墺地利ノ領地ナリ）征伐ノ將軍ニ命シタリ干時ニ將軍ノ年二十六歳ナリナポレオンハ始テ大兵ヲ指揮シ直ニ南方ニ出テヽ海岸ノ地ヨリアルペン山ヲ越ヘントシ其絶頂ニ至リシキハ兵士皆困耗シテ歩ヲ進ルヿ能ハスナポレオン怒テ云ク飢寒困耗ハ兵家ノ常事其苦ヲ嘗テ熟練ヲ得ヘシ何ソ之ヲ恐ルヽニ足ラン伊太里ノ地ニ至ラハ衣食ノ饒ナルヲ得ヘシ功

名ノ美ナルヲ取ル可シトテ馬ニ鞭テ山ヨリ下リ其勢瀑布ノ如ク忽チ墺地利ト（ピデモント）ノ合兵ヲ破リ（チューリン）（ピデモント）ノ首府ノ城下ニ迫テ之ヲ降タシ伊太里南方ノ地ヲ取テ佛蘭西ニ併セリ墺地利帝モ禍ノ自國ニ及ハンヿヲ恐レテ和ヲ乞ヒ佛蘭西ニ敵スルモノハ唯英吉利ノ一國ノミ佛蘭西ノ海軍ハ千七百九十四年ノ戰ニ英ノ水師提督ロルド・ホーウノ為ニ破ラレ西班牙ノ軍艦モ千七百九十七年ノ戰ニ失ヒ盡シテ英ノ海軍ニ敵ス可キモノナシ（ナポレオン）ハ既ニ瑞西ニ克ナ羅馬ノ法王

ヲモ廢シ天下ニ敵ナシト雖ドモ唯意ノ如クナラサモノハ英吉利ノミナルヲ以テ乃チ工夫ヲ運ラシ[エジプト亞非利加ノ東北]ヲ取テ英人ノ東印度ヘ往来スル者ノ妨ケ其貿易ノ路ヲ絶テ英國富強ノ源ヲ塞カントノ策ヲ立テ千七百九十八年水陸ノ兵ヲ裝ヒ[エジプト]ヲ攻メ不日ニシテ其北方ノ地ヲ取リシニ英ノ軍艦其跡ヲ追テ地中海ニ入リ第八月一日[アブーキル]ノ港ニテ佛艦ニ逢ヒ英ノ水師提督[ネルソン]一夜ノ戰ニ佛ノ艦隊ヲ破リ或ハ焼キ或ハ奪ヒ佛船ノ遁ルヽモノハ僅カニ二隻ノミ此二

隻モ次テ又英人ニ奪ハレタリ實ニ古来未曾聞ノ大勝利ナリ[ナポレオン]ハ獨リ絶域ニ居リ本國ト應援ノ路ヲ失フト雖ドモ心ニ關セス次第ニ[エジプト]ノ内地ニ入リ又東ニ向テ小亞細亞ノ領地ヲ攻メ至ル處勝タザルハナシ千七百九十九年ニ至リ本國ノ政府ニ事故アルヲ聞キ[ナポレオン]ハ機ニ乘シテ大事ヲ謀ラントシ兵隊ノ指揮ヲ副將ニ託シテ竊ニ[パリス]ニ歸レリ歸路地中海ニハ英國巡邏ノ軍艦多シト雖ドモコレヲ知ルモノナシコレヨリ先キ佛蘭西ノ政治漸ク舊ニ復シテ王政ノ

躰裁ヲ成シ議事官ヲ兩局ニ分テ一ヲ舊議員トシ一ヲ五百議員ト名ツケ別ニ「ヂレクトル」ナル者ヲ立テヽ兩局ノ上ニ位シ行政ノ權ハ「ヂレクトル」ノ官員ニ屬セリ「ナポレオン」歸國ノ時ハ墺地利ト「子イプル伊太里ノ一國」ト同盟シテ再ヒ佛蘭西ニ敵シ魯西亞モ亦墺ニ與ミシ佛ノ形勢甚タ危シ國人皆「ナポレオン」ノ英名ヲ慕ヒ此人ニ依賴シテ國威ヲ興張セントスルノ心アルヲ察シ乃チ大議ヲ發シ舊政躰ヲ一新シテ「ヂレクトル」ノ官員ヲ廢シ自カラ佛蘭西共和政府ノ大統領ト為リ寸兵ヲ用ヒズシテ

全國ノ權柄ヲ奪ヒコレヨリ十五年ノ間佛蘭西ノ歴史ハ「ナポレオン」一人ノ傳ナリ「ナポレヲン」國權ヲ執リシ後遇ヲ魯西亞ト墺地利トノ間ニ不和ヲ生シテ同盟ノ勢漸ク振ハス「ナポレオン」ハ此機ニ投シ大舉シテ「アルペン」山ヲ越ヘ「ベルナルド」ノ絶頂海面ヨリ高キ「八千尺四時雪アリ」ヨリ直ニ下テ敵ノ後ニ出テ墺軍ハ不意ヲ襲ハレテ進退ヲ失ヒ尚力戰シタレ𪜈遂ニ「ナポレオン」ノ鋒ニ當ル能ハス兵器ヲ置テ降參セリ此一戰ヲ以テ墺地利帝モ再ヒ和睦ヲ乞ヒ佛ニ敵スルモノハ又英ノ一國ト為レリ

ナポレオン既ニ諸邦ノ兵ヲ破リ其志願ハ唯英國ヲ厭例スルノ一事ナレヒ英ノ海軍ハ子ルツシノ勇略ヲ以テ向フ所勝タサルハナシ概シテ云ヘハ佛蘭西ハ陸ニ敵ナク英吉利ハ海ニ敵ナシ獅子山ニ嘯キ蛟龍水ニ蟠リ互ニ雌雄ヲ爭テ互ニ近ツクヲ得ス双方勝敗ノ決シ難キヲ知リ始テ和睦ノ談判ニ及ヒ千八百一年アミーンニ於テ英佛ノ和議成レリ○英佛和睦ノ後ナポレオンハ專ラ國内ノ事務ニ心ヲ用ヒ宗旨ノ法ヲ寛ニシテ人心ヲ籠絡シ國ノ政治ヲ次弟ニ立君ノ躰裁ニ變シ大統領ノ

在職ヲ生涯ノ期限ニ定メ萬機皆統領ノ獨裁ニ出サルモノナシ○アミーンノ條約ニ從ヘハ英人ハ地中海ノマルタ嶋ヲ棄ツ可キ約束ナレヒ貿易ノ權ヲ失ハンヿヲ恐テ其約ニ從ハス加之千八百三年第五月英國ノ政府ヨリ強償ノ令（初編第二巻十八葉ニ出ヲ）出タシテ英國所領ニアル佛船ヲ取押ヘシニナポレオンハ佛蘭西國内ニ居ル英人ヲ捕ヘ士商ノ別ヲ問ハス盡ク獄ニ繫テ其離ヲ復シ英佛ノ敵對復タ一新セリ佛兵大舉シテ英ヲ攻メントシ軍裝ヲ整ルヿニ當テ遇マ國内ニ亂ヲ生シナポレオンヲ殺

サントスル者アリ乃チ其黨類ヲ捕テ刑ニ處シ此勢ニ乘シテナポレオンハ帝位ニ昇ラントシ使ヲ羅馬ニ遣テ法王ヲ召シ千八百四年第十二月二日パリスニ於テ即位ノ禮ヲ行ヒ佛蘭西皇帝第一世ナポレオント稱セリ歐羅巴ノ人驚恢ヤザル者ナシ

西洋事情二編巻之三終

島田藏書